

新型コロナウイルス感染症にかかる 病床確保計画 (令和4年8月2日改定)

令和4年8月2日
大阪府健康医療部

病床確保計画の改定について

●病床確保計画（令和2年7月10日策定・10月14日・令和3年3月10日・6月9日・7月21日・11月19日・令和4年5月27日・8月2日改定）

- 一般医療との両立も踏まえ、感染状況に応じた病床の運用を図るため策定した計画
- フェーズ毎の確保病床数とフェーズ切替の移行基準を定めたもの

<確保計画における設定病床数の推移>

		令和2年		令和3年				令和4年	
		7月10日	10月14日	3月10日	6月9日	7月21日	11月19日	5月27日	8月2日
重症	設定病床数※	215床	215床	221床	500床	580床	610床	620床	590床
軽症中等症	設定病床数※	1,400床	1,400床	1,800床	3,000床	3,000床	3,100床	3,350床 + 緊急避難的 確保病床	4,100床

※ 計画の最大フェーズに設定した病床数

●病床確保計画見直しのポイント

- 緊急避難的確保病床数を反映
- 病床数・フェーズ移行の判断基準となる入院患者数（目安）の更新

[令和4年8月2日改定] 病床確保計画

病床確保計画 (R4.8.2改定)

(改定前からの変更箇所を下線)

【フェーズの考え方】

- フェーズ移行の準備期間を重症病床は概ね1週間、軽症中等症病床は概ね2週間とする
- フェーズの移行については、下記判断基準（第六波の感染拡大傾向をもとに作成）を目安に、感染状況や病床運用率等を踏まえ総合的に判断。なお、一度に複数段階上または下のフェーズに移行する可能性もある

重症病床	運用	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数（目安）		確保病床 7/29時点
	フェーズ		感染拡大時	感染収束時	
	フェーズ1	180床	およそ108人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ2 移行準備	-	182床
	フェーズ2	240床	およそ168人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ3 移行準備	およそ108人未満 ⇒フェーズ1 移行準備	246床
	フェーズ3	320床	およそ224人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ4 移行準備	およそ168人未満 ⇒フェーズ2 移行準備	325床
	非常事態（フェーズ4）	410床	およそ287人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ5 移行準備	およそ224人未満 ⇒フェーズ3 移行準備	419床
	災害級非常事態（フェーズ5）	590床	-	およそ287人未満 ⇒フェーズ4 移行準備	593床

軽症中等症病床	運用	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数（目安）		確保病床 7/29時点
	フェーズ		感染拡大時	感染収束時	
	フェーズ1	1,800床	およそ720人（病床数の40%）以上 ⇒フェーズ2 移行準備	-	1,846床
	フェーズ2	2,350床	およそ940人（病床数の40%）以上 ⇒フェーズ3 移行準備	およそ720人未満 ⇒フェーズ1 移行準備	2,374床
	フェーズ3	2,700床	およそ1,080人（病床数の40%）以上 ⇒フェーズ4 移行準備	およそ940人未満 ⇒フェーズ2 移行準備	2,742床
	フェーズ4	3,050床	およそ1,830人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ5 移行準備	およそ1,080人未満 ⇒フェーズ3 移行準備	3,062床
災害級 非常事態 (フェーズ5)	緊急避難的 確保病床を除く	3,450床	およそ2,070人（病床数の60%）以上 ⇒緊急避難的確保病床の運用要請準備	およそ1,830人未満 ⇒フェーズ4 移行準備	3,475床
	緊急避難的 確保病床を含む	4,100床	-	(運用開始日から3週間程度)	4,108床 (633床*)

*：緊急避難的確保病床数

【参考：現在のフェーズ】 重症病床：フェーズ3 [R4.7.25～]
 軽症中等症病床：フェーズ5（緊急避難的確保病床を除く） [R4.7.13～]、フェーズ5（緊急避難的確保病床を含む） [R4.8.4～R4.8.31]

[参考 (改定前)] 令和4年5月27日に改定した病床確保計画

病床確保計画 (R4.5.27改定)

【フェーズの考え方】

- フェーズ移行の準備期間を重症病床は概ね1週間、軽症中等症病床は概ね2週間とする
- フェーズの移行については、下記判断基準（第六波の感染拡大傾向をもとに作成）を目安に、感染状況や病床運用率等を踏まえ総合的に判断。なお、一度に複数段階上または下のフェーズに移行する可能性もある

重症病床	運用	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数（目安）		確保病床 5/17時点
	フェーズ		感染拡大時	感染収束時	
	フェーズ1	190床	およそ114人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ2移行準備	-	193床
	フェーズ2	260床	およそ182人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ114人未満 ⇒フェーズ1移行準備	263床
	フェーズ3	340床	およそ238人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ182人未満 ⇒フェーズ2移行準備	345床
	非常事態（フェーズ4）	430床	およそ301人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ5移行準備	およそ238人未満 ⇒フェーズ3移行準備	438床
	災害級非常事態（フェーズ5）	620床	-	およそ301人未満 ⇒フェーズ4移行準備	622床

軽症中等症病床	運用	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数（目安）		確保病床 5/17時点
	フェーズ		感染拡大時	感染収束時	
	フェーズ1	1,700床	およそ680人（病床数の40%）以上 ⇒フェーズ2移行準備	-	1,731床
	フェーズ2	2,300床	およそ920人（病床数の40%）以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ680人未満 ⇒フェーズ1移行準備	2,302床
	フェーズ3	2,650床	およそ1,060人（病床数の40%）以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ920人未満 ⇒フェーズ2移行準備	2,658床
	フェーズ4	2,950床	およそ1,770人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ5移行準備	およそ1,060人未満 ⇒フェーズ3移行準備	2,986床
	災害級非常事態（フェーズ5）	3,350床 ^{*1}	およそ2,010人（*1の病床数の60%）以上 ⇒緊急避難的確保病床の運用要請準備	およそ1,770人未満 ⇒フェーズ4移行準備	3,375床
	緊急避難的確保病床	各病院に要請 ^{*2}	-	（運用開始日から3週間程度）	-

*1：緊急避難的確保病床(*2)を除く *2：1,500床程度を目標に要請、要請結果を集約次第反映